

令和3年度 学校評価

(児童集計)

	質問	評価				回答数	達成率
		とても 思う (4)	まあ 思う (3)	あまり 思 わない (2)	ま った く 思 わ ない (1)		
知	1 学習(授業)が楽しい(楽しみ)。	6	10	2	0	18	81%
	2 学習(授業)が分かる。	8	9	1	0	18	85%
	3 自分の考えをみんなの前で発表できる。	12	5	1	0	18	90%
	4 友達と話し合い、自分の考えが深まった。	6	12	0	0	18	83%
徳	5 みんなのために、よい行動をした。	4	12	2	0	18	78%
	6 勉強や運動、行事など、自分の目標に向けて、努力している。	9	8	1	0	18	86%
	7 友達に温かい言葉遣いができる。	7	11	0	0	18	85%
	8 あいさつが進んでできる。	13	4	1	0	18	92%
	9 進んで読書をしている。	8	5	4	1	18	78%
体	10 進んで外遊びをしている。	14	1	3	0	18	90%
	11 進んで体力づくりに取り組んでいる。	9	7	2	0	18	85%
	12 早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちができています。	4	10	3	1	18	74%
	13 学校が楽しい。	7	8	2	1	18	79%
家庭学習	14 (学年+1)×10分 の目安の時間、家庭学習に取り組んでいる。	7	9	1	1	18	81%
	15 毎日、時間を決めて、家庭学習に取り組んでいる。	8	9	1	0	18	85%
	16 家庭学習中は、テレビを消し、学習用具をそろえて、取り組んでいる。	8	5	3	2	18	76%
	17 自主学習(自分で課題を決め学習する)に取り組んでいる。	0	5	3	1	9	61%
他	18 家で、学校のことを家の人に話している。	13	5	0	0	18	93%

達成率は、「実際の評価ポイントの総数÷全員の評価が4の場合のポイント総数」の百分率

自由記述欄 (3年生以上が回答)

1 学校の活動についての意見 (行事: 体育祭など たつっ子集会 クラブ活動 委員会活動など)

- 全校かくれんぼを行う。
- 朝活動にマラソンをする。
- 図書委員会はいらぬ。(2人)
- 三角巾はいらぬ。
- 生地が薄くて寒いので、陸上部にユニフォームをかえてほしい。
- 音楽部活をなくしてほしい。(2人)
- 体育祭練習を暑くない時間にしてほしい。
- クラブ活動でサッカーをしたい。
- 委員会を真剣にやる。

2 学校の授業、学校の約束などについての意見

- 体育を増やしてほしい。(2人)
- 駅伝をなくしてほしい。
- 家で自由な時間が欲しいので、宿題を減らしてほしい。
- 約束を守る。

3 その他

- トイレを児童水洗にする。
- トイレトペーパーの予備を3個にしてほしい。
- 本を1週間に2冊は借りるようにする。
- 冬休みの宿題をなくしてほしい。
- 暖房をつけてほしい。
- 私服にしてほしい。(3人)

令和3年度 学校評価

(保護者集計)

	質問	評価				回答数	達成率
		とても 思う (4)	まあ 思う (3)	あまり 思 わない (2)	ま った く 思 わ ない (1)		
知	1 児童は、楽しく学習している。	2	9	1	0	12	77%
	2 児童は、学習した内容を理解している。	1	10	1	0	12	75%
	3 児童は、自分の考えをみんなの前で発表できる。	4	7	1	0	12	81%
	4 児童は、友達と話し合い、自分の考えを深めている。	2	9	1	0	12	77%
徳	5 児童は、他の人の役に立つ行動をしている。	6	6	0	0	12	88%
	6 児童は、学習や運動、行事など、目標に向かって努力している。	5	7	0	0	12	85%
	7 児童は、温かい言葉遣いができる。	4	8	0	0	12	83%
	8 児童は、相手の顔を見て笑顔で挨拶ができる。	3	8	1	0	12	79%
	9 児童は、進んで読書をしている。	3	6	3	0	12	75%
体	10 児童は、進んで外遊びをしている。	7	3	2	0	12	85%
	11 児童は、進んで体力づくりに取り組んでいる。	0	9	3	0	12	69%
	12 児童は、「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」ができています。	2	6	4	0	12	71%
	13 児童は、楽しく学校生活を送っている。	8	4	0	0	12	92%
家庭学習	14 (学年+1)×10分 の目安の時間、家庭学習に取り組んでいる。	3	6	3	0	12	75%
	15 毎日、時間を決めて、家庭学習に取り組んでいる。	1	7	4	0	12	69%
	16 家庭学習中は、テレビを消し、学習用具をそろえて、取り組んでいる。	5	4	2	1	12	77%
	17 自主学习(自分で課題を決め学習する)に取り組んでいる。 ※ 3～6年の児童がいるご家庭のみ、お答えください。	1	4	2	0	7	71%
他	18 児童は、学校での出来事を家庭で話している。	5	7	0	0	12	85%

達成率は、「実際の評価ポイントの総数÷全員の評価が4の場合のポイント総数」の百分率

ご意見欄 (○よいこと ●課題につながる意見 □要望)

○修学旅行も無事に行くことができ、ととてもうれしく思った。帰りのバスが到着するときに、学校全部の明かりを点けてくれて感動した。いろいろな体験をさせてもらった。
 ○学校は、あたたかく見守ってくれている。
 ○学校はコロナ予防対策や生活・授業・活動の工夫をしてくれている。制限のある中でも小規模の強みもあり、友達と会えることを楽しみに学校に通っている。
 ○コロナの影響もあり、制限された中ではあるが学校行事も少しずつ開催されるようになりうれしい。子供も楽しく学校に通っていて、家でもよく友達の名前が出てくる。学校関係なく遊べていて、とてもよいことだと思う。
 ○毎日楽しく通っている。
 ○楽しんで学習している子、そうでない子、様々なようですが、少人数のよい点で、見落とされずに先生にサポートしてもらっているんだと思う。願っている。
 ●色々な人がいて、考え方ややり方は色々あるという経験が乏しいのが気がかり、学習面・生活面で心配である。
 ●もう少し体力作りができればと思う。コロナの中でもあったので、どうしても運動不足が気になる。
 □自分の得意、苦手なこと、友達の得意なこと苦手なことを、はっきりと理解・認識すること互いに認め合うこと。そこから目標を立て、それぞれのスピードで着実に前進していくことができると思う。大丈夫、何だってできるという安心感を与えてほしい。

令和3年度 学校評価 2学期 教職員集計

		質 問	評 価				達成率は、「実際の評価ポイントの総数÷全員の評価が4の場合のポイント総数」の百分率	
			◎(4)	○(3)	△(2)	×(1)	回 答 数	達成率
学 び 合 う 子	1	教材研究を大切にした授業の充実に取り組むことができた。	1	4	0	0	5	80%
	2	丁寧な個別指導に取り組めた。	2	4	0	0	6	83%
	3	ICT機器の積極的な活用に取り組めた。	0	6	0	0	6	75%
	4	児童が、自分の思いを伝える場を設けることができた。	2	4	0	0	6	83%
	5	思考ツールを使用し、児童が互いの考えを深めることができた。	0	6	0	0	6	75%
	6	児童が互いの意見を尊重し、安心して発言できる学校風土をつくることができた。	2	4	0	0	6	83%
	7	家庭学習の振り返りやアウトメディアの取組みを通して、学習・生活習慣の意識化を図ることができた。	0	4	2	0	6	67%
認 め 合 う 子	8	皆の役に立つ行動ができる子の育成に取り組むことができた。	0	7	0	0	7	75%
	9	児童のアイデアを生かして、楽しい横山小づくりをする子の育成を図ることができた。	1	6	0	0	7	79%
	10	たつ子ショート集会を通して、互いのよさを理解することができた。	5	1	1	0	7	89%
	11	学級活動や横小ミーティングを通し、課題や改善案を話し合うことができた。	2	3	1	0	6	79%
	12	ハッピー健康の日にエンカウンターを実施することができた。	3	4	0	0	7	86%
	13	キャリア教育を通して、地域から学ぶ・地域に返す活動を行うことができた。	2	3	1	0	6	79%
	14	講師を招いて行う「やらまいか学習」を通して、児童が新たな出会いをしたり、よりよい経験をしたりすることができた。	4	3	0	0	7	89%
高 め 合 う 子	15	児童に目標を持たせ、心身を鍛える体育授業に取り組むことができた。	2	4	0	0	6	83%
	16	児童は、縦割り班で練習し主体的に体力づくりに取り組むことができた。	1	3	2	0	6	71%
	17	部活動において個々に目標を持たせて活動を行うことができた。	1	5	0	0	6	79%
	18	元気チェックを通して、児童に心と体の健康指導を行うことができた。	1	7	0	0	8	78%
	19	ハッピー健康を通して、保健目標を児童に意識させることができた。	3	4	0	0	7	86%
	20	児童に「早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち」を意識させることができた。	0	6	0	0	6	75%
	21	食育指導を充実させることができた。	0	7	0	0	7	75%

記述欄

1 各設問で「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた方、改善方法があれば教えてください。

●児童数が減少し、児童(特に高学年)一人一人が担当する役割が大きくなっている。活動内容が例年通りだと、こなすのに精いっぱい活動に向けて意識を高めたり価値づけたりする余裕がなくなってしまう気がするので、来年度以降年間予定に組みこむ活動を考えていく必要があると感じた。
□体力作りは縦割りごとではなく、個人の方が取り組みやすく、評価しやすいと思う。

○令和3年度 学校評価から分かった課題に対する方策

1 学校評価「児童集計」より

児童集計を見ると、「あいさつが進んでできる」と「自分の考えをみんなの前で発表できる」という項目が、高い評価になっています。これは、今年度から「自分からあいさつ」をキーワードに、子供たちに積極的にあいさつや学習などに取り組もうと声を掛けてきた成果だと感じます。

しかし「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」と「家庭学習」の項目について、低い評価になっています。この傾向は昨年から改善されていません。新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、学級担任ももっとかかわって、健康教育を推進しなくてはいけないと感じました。また、学習についても教員で学力向上のための方策を検討し、本読みカードや家庭学習の充実を図る必要があります。それを保護者にも伝え、家庭と学校が一緒になって取り組むことが重要です。「家で学校のことを家の人に話している」も高い評価ですので、児童を通して家庭に伝えることもさらに進めていきたいと思えます。

【具体的な取り組み】

- ① 学校経営基本構想のキーワード「自分からあいさつ」を、健康的な生活や積極的な学習への取り組みにも広げ、職員全員で声を掛けて、子供たちのこつこつと取り組む姿勢を育てる。
- ② 職員で健康教育の推進と学力向上についての方策を検討し、その結果を基に、子供たち・保護者に、規則正しい生活習慣・充実した家庭学習への取り組み方について考える。

2 学校評価「保護者集計」より

御意見には、学校教育への御理解と、児童の成長への温かい思いが感じられました。そのことは「児童が楽しく学校生活を送っている」「児童は学校での出来事を家庭で話している」の項目が高評価であったことから感じられます。「児童は他の人の役に立つ行動をしている」「児童は学習や運動、行事など目標に向かって努力している」も高い評価で、家庭でも児童が自分で考えているような行動をとったり、目標をもって努力したりしている姿が読み取れ、うれしく感じました。

しかし、「児童は進んで体力作りに取り組んでいる。」の評価が低く、新型コロナウイルス感染症の影響が関わっていると感じます。児童のアンケートでは、「進んで外遊びをしている」の評価が高かったのも、もっと子供たちが取り組みやすく効果的な体力向上の方策を考えないといけないと感じました。また、家庭学習についての評価の低さも大きな課題だととらえています。継続して取り組んでいる「家庭学習の手引き」「本読みカード」の取り組みは、一定の成果は出ているように感じられますが、さらに活用が進むように工夫する必要があると思われれます。家庭と学校が効果的な学力向上、体力向上について一緒に取り組もうという意識を共有できる方策を考えていきたいと思えます。

【具体的な取り組み】

- ① 本読みカードや家庭学習の手引きを検討するとともに、学力向上の方策を検討し、児童・保護者とともに取り組んでいく。
- ② 子供たちが取り組みやすい体力向上の方法を検討し、児童・保護者とともに取り組んでいく。

3 学校評価「教職員集計」より

学校経営基本構想の「家庭学習の振り返りやアウトメディアの取り組みを通して、学習・生活習慣の意識化を図ることができた」の項目が低い評価でした。家庭と学校の協力が必要だと感じました。また、「児童、縦割り班で練習し主体的に体力作りに取り組むことができた」の項目も若干低く、体力向上の方策を考え実践していかなければならないと感じました。

【具体的な取り組み】

- ① 本読みカードや家庭学習の手引きを検討するとともに、学力向上の方策を検討し、児童・保護者とともに取り組んでいく。
- ② 子供たちが取り組みやすい体力向上の方法を検討し、児童・保護者とともに取り組んでいく。

4 学校関係者評価

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、学校評議員会は中止となりました。そこで、委員の方に資料を送付し、御意見をいただきました。御意見をいくつか紹介します。

- 新型コロナ感染症が流行する中、様々な学習体験活動や社会科見学、修学旅行などもできて、よかった。
- 家庭学習や生活習慣について、少し課題はあるようだが、自分自身の生活や学習をきちんと見つめることができているからだと考えられる。
- 学校生活では、子供たち全てが一人ひとり主役にならなければならない。不得意でも主役を演じなければならない辛さを感じる。しかし、一生懸命取り組む姿勢は中学校になっても役立つと感じる。
- 地域にとって学校があるということは、地域活力の源である。横山小学校にかかわる地域の大人を含めた教育力を高めることも学校活動に期待している。
- 朝、杉の子に参加したとき、明るいムードがほほえましい。
- 子供一人ひとりに対応してくれるから意欲も上がり、明るい校風が生まれると感じる。
- 少人数だが、すごく活発にいろいろなことに挑戦していていいと思う。
- △子供の読書習慣は大切。本を読む楽しさを伝えてほしい。
- △小規模であることで先生方が全ての子供たちを見ることができ、その良い点と課題があると感じる。
- △コロナ禍を親子の触れ合いが増えるチャンスをつかえ、家庭での学習・生活習慣への取り組みを進めるようにしてほしい。体力向上についても、保護者の皆さんの協力が得られるとありがたい。
- △コロナ禍の影響で、先が見えずストレスが続く中、子供たちの心のケアをお願いしたい。
- △IT学習の強化をしてほしい。
- △小規模だからできる、個に応じた指導、基礎学力の定着に向かた取り組みを充実させてほしい。
- △コロナの影響で、学校活動を見る機会が減って残念。学校のホームページや学校だよりを楽しみにしている。
- △小規模校だからこそ、主役である子供たちや先生たちが、活動に振り回されてしまう危険性がある。

【具体的な取り組み】

- ① 学校評議員の皆さんを含め、地域の方々と共に、学校教育を進めていけるように、学校運営協議会を核として、今後も御意見をいただきながら、活動を進めていく。
- ② 参観会に地域の方々を招いたり、ホームページや学校だよりで学校での様子を見ていただいたりして、情報発信に努める。